

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークⅢ (4単位)	3. 科目番号	SBMP3157
2. 授業担当教員	祐東 孝好		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワークⅢは、ソーシャルワークⅠ・ソーシャルワークⅡで学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理、ソーシャルワークプロセスと付随する専門技術等を前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、多様な課題と支援の必要性を持つ現代社会のクライアントに、より専門的に対応、その課題等の解消と軽減に向け働きかけることのできる知識・技術としての実践理論・アプローチについて学習する。加えて、グループを用いた支援、あらゆる場面で必要とされるコーディネーションとネットワークキング、関連する社会資源の調整と開発など、クライアントへの直接的・間接的相談援助技術について総合的・包括的に学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。</p>		
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ソーシャルワークの定義と「相談援助」の対象について再確認する。 2. ケースマネジメント (ケアマネジメント) についてその概要を理解する 3. グループを活用した支援について理解する。 4. コーディネーションとネットワークキング、社会資源の調整・開発について理解する。 5. ソーシャルワーク実践モデルとアプローチの概要と実践方法について理解する。 6. スーパービジョンについて理解する。 7. ケースカンファレンスについて理解する。 8. 実践事例を通じて、相談援助に必要な専門知識・技術について横断的に活用ができる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>授業でまとめたところから、小テストを行う。 授業内容をまとめたレポート課題を行う。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『相談援助の理論と方法Ⅱ (新・社会福祉士養成講座8)』第3版、中央法規、2015年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 ・8つの目標を達成することができたか。</p> <p>○評定の方法 (1) 平常点 (授業態度・発表・発言・学習課題など) 20%、 (2) 課題レポート 30% (3) 試験 50%</p> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>個人、家族、小集団・組織、地域社会をクライアント・システムとしてとらえ、対象がどのような場合でも、基本的なソーシャルワーク過程の応用であることを意識しながら実践力を身につける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 遅刻、欠席のないようにする。やむを得ず欠席する(した)場合は速やかに書面で届け出る。 2. レポートの提出期限を厳守する。提出期限後の提出は減点します。 3. 私語や居眠り、学習のテーマ以外の作業、携帯電話の使用、その他授業の妨げとなる行為は、平常点より減点します。 		
13. オフィスアワー	初回の授業でお知らせします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	○オリエンテーション ○相談援助における対象の理解① ・社会福祉援助活動の概念と定義	事前学習	教科書 pp2~25 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	社会福祉援助活動の概念と定義についてまとめる。
第2回	○相談援助における対象の理解② ・相談援助の対象をどうとらえるか ・新たなソーシャルワークの展開と社会福祉士認定制度	事前学習	教科書 pp2~25 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	相談援助の対象をどうとらえるか、新たなソーシャルワークの展開と社会福祉士認定制度についてまとめる。
第3回	○ケースマネジメント(ケアマネジメント)① ・ケースマネジメントの基本 ・ケースマネジメントの過程	事前学習	教科書 pp28~58 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ケースマネジメントの基本、過程についてまとめる。
第4回	○ケースマネジメント(ケアマネジメント)② ・ケースマネジメントにおけるアセスメントの特徴 ・ケアプランの作成・実施の特徴	事前学習	教科書 pp28~58 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ケースマネジメントにおけるアセスメントの特徴、ケアプランの作成・実施の特徴についてまとめる。

第5回	○ケースマネジメント(ケアマネジメント)③ ・ケースマネジメントの特徴 ・ケースマネジメントとソーシャルワークの関係	事前学習	教科書 pp28~58 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	についてまとめる。
第6回	○グループを活用した相談援助 ・グループを活用した相談援助 ・自助グループを活用した相談援助	事前学習	教科書 pp60~80 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	グループ、自助グループを活用した相談援助についてまとめる。
第7回	○コーディネーションとネットワーク① ・コーディネーションの目的と意義 ・コーディネーションの方法・技術・留意点 ・ネットワークの意義と目的	事前学習	教科書 pp82~104 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	コーディネーションの目的と意義についてまとめる。
第8回	○コーディネーションとネットワーク② ・ネットワークの方法 ・地域福祉を推進するための総合的なネットワークの形成とシステム化	事前学習	教科書 pp82~104 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ネットワークの方法、地域福祉を推進するための総合的なネットワークの形成とシステム化についてまとめる。
第9回	○相談援助における社会資源の活用・調整・開発① ・社会資源の活用・調整・開発の意義と目的 ・社会資源の活用・調整・開発の方法と留意点 その1	事前学習	教科書 pp106~126 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	社会資源の活用・調整・開発の意義と目的についてまとめる。
第10回	○相談援助における社会資源の活用・調整・開発② ・社会資源の活用・調整・開発の方法と留意点 その2 ・ソーシャルアクションによるシステムづくり	事前学習	教科書 pp106~126 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	社会資源の活用・調整・開発の方法と留意点、ソーシャルアクションによるシステムづくりについてまとめる。
第11回	○さまざまな実践モデルとアプローチⅠ① ・実践モデルとその意味 ・治療モデル、生活モデル、ストレングスモデル その1	事前学習	教科書 pp128~148 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	実践モデルとその意味についてまとめる。
第12回	○さまざまな実践モデルとアプローチⅠ② ・治療モデル、生活モデル、ストレングスモデル その2 ・ジェネラリスト・ソーシャルワークの展開と実践モデル	事前学習	教科書 pp128~148 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	治療モデル、生活モデル、ストレングスモデル、ジェネラリスト・ソーシャルワークの展開と実践モデルについてまとめる。
第13回	○さまざまな実践モデルとアプローチⅡ① ・心理社会アプローチ ・機能的アプローチ ・問題解決アプローチ ・課題中心アプローチ	事前学習	教科書 pp150~171 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	心理社会アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチ、課題中心アプローチについてまとめる。
第14回	○さまざまな実践モデルとアプローチⅡ② ・危機介入アプローチ ・行動変容アプローチ ・事例考察によるアプローチ理解	事前学習	教科書 pp150~171 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	危機介入アプローチ、行動変容アプローチ、事例考察によるアプローチ理解についてまとめる。
第15回	○さまざまな実践モデルとアプローチⅢ① ・エンパワメントアプローチ ・ナラティブアプローチ ・認知アプローチ	事前学習	教科書 pp174~197 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	エンパワメント、ナラティブ、認知アプローチについてまとめる。
第16回	○さまざまな実践モデルとアプローチⅢ② ・その他のアプローチ ・事例考察によるアプローチ理解 ・アプローチをめぐる課題	事前学習	教科書 pp174~197 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	事例考察によるアプローチ理解、アプローチをめぐる課題についてまとめる。
第17回	○スーパービジョンとコンサルテーション ・スーパービジョンの意義と目的 ・スーパービジョンの方法と留意点 ・コンサルテーション	事前学習	教科書 pp200~213 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	スーパービジョンの意義と目的・方法と留意点、コンサルテーションについてまとめる。
第18回	○ケースカンファレンスの技術① ・ケースカンファレンスの意義と目的 ・ケースカンファレンスの方法と留意点	事前学習	教科書 pp216~239 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ケースカンファレンスの意義と目的、方法と留意点についてまとめる。
第19回	○ケースカンファレンスの技術② ・ケースカンファレンスの実際 ・ケースカンファレンスの評価と普遍化	事前学習	教科書 pp216~239 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	ケースカンファレンスの実際、方法と留意点についてまとめる。
第20回	○相談援助における個人情報の保護	事前学習	教科書 pp242~252 を熟読し、説明出来るようにしておく。

		事後学習	相談援助における個人情報の保護についてまとめる。
第 2 1 回	○相談援助における情報通信技術 (ICT) の活用	事前学習	教科書 pp254~265 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	相談援助における情報通信技術 (ICT) の活用についてまとめる。
第 2 2 回	○事例研究・事例分析① ・事例研究の目的と意義 ・事例研究の方法と留意点	事前学習	教科書 pp268~283 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	事例研究の目的と意義、方法と留意点についてまとめる。
第 2 3 回	○事例研究・事例分析② ・事例分析の目的と意義 ・事例分析の方法と留意点	事前学習	教科書 pp284~291 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	事例分析の目的と意義、方法と留意点についてまとめる。
第 2 4 回	○相談援助の実際① ・事例 1	事前学習	教科書 pp294~296 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	事例 1 についてまとめる。
第 2 5 回	○相談援助の実際② ・事例 2	事前学習	教科書 pp297~299 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	事例 2 についてまとめる。
第 2 6 回	○相談援助の実際③ ・事例 3	事前学習	教科書 pp300~302 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	事例 3 についてまとめる。
第 2 7 回	○相談援助の実際④ ・事例 4	事前学習	教科書 pp303~305 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	事例 4 についてまとめる。
第 2 8 回	○相談援助の実際⑤ ・事例 5	事前学習	教科書 pp306~308 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	事例 5 についてまとめる。
第 2 9 回	○相談援助の実際⑥ ・事例 6	事前学習	教科書 pp309~312 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	事例 6 についてまとめる。
第 3 0 回	○相談援助の実際⑦ ・事例 7	事前学習	教科書 pp313~315 を熟読し、説明出来るようにしておく。
		事後学習	事例 7 についてまとめる。
期末試験			